

6 正色学区連絡協議会（中川区）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

1 団体名	正色学区連絡協議会
2 事業名	正色学区住宅対象侵入盗撲滅事業
3 事業実施結果	<p>事業概要</p> <p>本パトロール隊の活動地域である、名古屋市中川区下之一色町は、国道一号線の南で、庄内川と新川に挟まれた三角州の地域であり、昔は漁業で潤った町であったが、現在は事業所もなく、高齢者も多く居住し、独居世帯や空家が目立つため、日頃から自治活動として、公園、通学路等における危険個所の点検を行い、適切な指導及び安全対策について配慮している。</p>  <p style="text-align: center;">10月9日（火）定例会にて説明</p> <p>パトロール資材（ベスト、帽子、懐中電灯、警戒棒）等の購入により、活動の更なる活発化、強化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各町内会パトロール隊との連携を強化し、パトロールの回数を増加した。 ・各町内会と情報交換会を実施するなど情報共有を図り、効果的なパトロール活動を行った。 ・啓発グッズや防犯のぼり旗を作成し、各町内会へ配布することで意識向上を図った。   <p style="text-align: center;">12月10日（月）緊急防犯パトロール打ち合わせ</p>



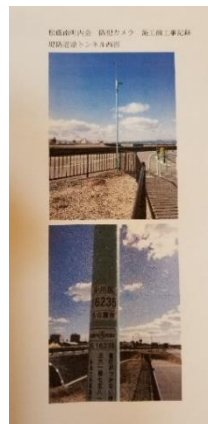
団体名入りジャンパーと帽子



夜間用ベスト及び警戒棒



防犯意識を高めるためののぼり旗



松陰防犯カメラ監視中



昼間の交通防犯パトロール



夜間防犯パトロール



国道一号線の横断歩道模様



通学路の横断歩道模様

◎ 実施方法 1) 交通安全対策 (4班に分ける)

A班 (南地区) 明德橋、日の出橋

B班 (東地区) 松陰地域

C班 (西、古川) 権野交差点

D班 (町一～町五) 本町通り

毎月 10日、20日、30日をパトロールの日と決める

午後 3:00～

国道一号線下之一色交差点での交通安全遵守、その後災害時にも使用される子供通学路等、子供110番の家の確認と協力へのお礼、道路標識、ブロック塀の壊れた危険個所の点検を行う。



図 下之一色町公道MAP



10月14日（火） 防犯啓発活動を行う決意表明

◎平成30年10月30日（火）には、正色学区緊急防犯講習会を開催
中川警察署生活安全課 伊岐見様より講演（参加人数45人）

①住宅対象侵入盗

②オレオレ詐欺等について講習を受けた。

防犯 住宅対象侵入盗4原則

- 1) 時間➡泥棒は、5分以上かけて鍵を開けることはしないから頑丈もしくは、二重に鍵をすることを推奨する。
- 2) 光➡町全体を明るくする。自宅にセンサーライトをつける等。
- 3) 音➡静かに。泥棒は、素早く、静かに行動する。耳を澄ます。
- 4) 目➡地域目。泥棒は、下見をする。日々歩き回る。
地域全体で観ているということ感じさせる。



10月30日（火）

講習会模様（泥棒等の手口説明）

◎ 啓発活動 11月11日（日）スーパー前にて「ビラ配り」の実施



◎配布しながら、住宅対象侵入盗、オレオレ詐欺等の被害防止を呼びかけた。



スーパー前にて

配布したポケットティッシュとチラシ

◎ 2) 夜間防犯パトロール

普段から、自治会活動でベストを積極的に着用することとして「見える形」での抑止向上、住民の防犯意識高揚を図る。

毎月10日、20日、30日

午後 7:00～

正曇寺に集合、4班に別れ決められたコースを回る。

特に

- ・ 緊急月間夜間防犯パトロールを実施
 - ・ 強い地域、この地域は泥棒に入らせない!
 - ・ 地域全体を観ているのだ。
 - ・ 目立った格好をして、皆で観ている。
- 10月～12月末日まで。



10月16日（火）



10月23日（火）



11月20日（火）

夜間防犯パトロール 正曇寺前に集合



事業実施の成果、課題及び今後の取組

成果

パトロール隊の高齢化が進んでいる中で、本年度は新人隊員入れ替わりもあり、区政協力委員、防犯委員等全員にジャンパー・帽子を購入した。全員が同じ服装することにより、自分達の地域は自分達で守るんだという強い意識をもって昼間のパトロール・夜間パトロールなどに積極的に取り組むことができ、地域住民の防犯意識は以前よりは向上したと思われる。

課題及び今後の取組

限られた委員による犯罪抑止撲滅活動には限界がある。高齢化しているパトロール隊の増強、育成が必要である（まだ働いている方が多いため）。

現状は 毎月10・20・30日定例パトロールをしていたが、午後3時からの交通パトロール及び午後7時からの夜間パトロールは、なかなか人手不足である。今後の課題として、日にち及び時間帯を考慮し、効果的なパトロール体制を検討する必要がある。

高齢化社会の到来、独居老人の増加により被害（災害）弱者といわれる高齢者の防犯に対する意識が低下してきているので、防犯講習会を開催、独居老人宅を随時訪問するなどの啓発活動を促していきたい。

4 成果と課題 及び今後の 取組



啓発備品の設置状況



郵便局前にも設置